

科目名	スタイリストワーク I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大橋マリ

【科目の到達目標】

クライアントの意向を汲み120%以上のスタイリングが提案できディレクション力を身に付ける。

【科目の概要】

個性を磨き、プレゼンテーション力と柔軟な対応のコミュニケーション力を養えるよう指導。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 プレタ展(テーマプレゼンテーション)
- 2 プレタ展(テーマプレゼンテーション)
- 3 プレタ展(ラフ画)
- 4 プレタ展(ラフ画)
- 5 プレタ展(スタイリングチェック)
- 6 プレタ展(スタイリングチェック)
- 7 プレタ展(スタイリングチェック)
- 8 プレタ展(スタイリングチェック)
- 9 プレタ展(ショー構成)
- 10 プレタ展(ショー構成)
- 11 プレタ展(衣装仕上げ)
- 12 プレタ展(衣装仕上げ)
- 13 プレタ展(スタジオ撮影)
- 14 プレタ展(スタジオ撮影)
- 15 プレタ展(リハーサル)
- 16 プレタ展(リハーサル)
- 17 プレタ展(本番)
- 18 プレタ展(本番)
- 19 プレタ展(講評)/上安祭(衣装製作)
- 20 上安祭(テーマプレゼンテーション)
- 21 上安祭(テーマプレゼンテーション)
- 22 上安祭(ラフ画)
- 23 上安祭(ラフ画)
- 24 上安祭(スタイリングチェック)
- 25 上安祭(スタイリングチェック)
- 26 上安祭(第1回実物審査)
- 27 上安祭(第1回実物審査)
- 28 上安祭(スタイリングチェック)
- 29 上安祭(スタイリングチェック)
- 30 上安祭(第2回実物審査)

【成績評価方法】

提出物評価30% ショー30% プレゼンテーション20% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	スタイリストワークⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大橋マリ

【科目の到達目標】

クライアントにプレゼンをする時にスタイリングだけではなくシチュエーションと共にファッションを説明出来る事。

【科目の概要】

個性を磨き、プレゼンテーション力と柔軟な対応のコミュニケーション力を養えるよう指導。
シチュエーション、バックグラウンド、照明、音楽、モデルキャスティング、総合で考えられるスキルを磨く。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 上安祭(第2回実物審査)
- 2 上安祭(構成)
- 3 上安祭(構成)
- 4 上安祭(衣装仕上げ)
- 5 上安祭(衣装仕上げ)
- 6 上安祭(リハーサル)
- 7 上安祭(リハーサル)
- 8 上安祭(本番)
- 9 上安祭(本番)
- 10 上安祭(講評)
- 11 卒業ショーテーマ
- 12 ラフ画プレゼンテーション
- 13 ラフ画プレゼンテーション
- 14 スタイリングチェック
- 15 モデルキャスティング
- 16 スタイリングチェック
- 17 スタイリングチェック
- 18 実物審査
- 19 実物審査
- 20 演出・構成
- 21 演出・構成
- 22 撮影(展示用)
- 23 撮影(展示用)
- 24 卒業ショープレリハーサル
- 25 卒業ショープレリハーサル
- 26 卒業ショーリハーサル
- 27 卒業ショーリハーサル
- 28 卒業ショー本番
- 29 卒業ショー本番
- 30 卒業ショー本番

【成績評価方法】

提出物評価(ラフ画作成、スタイリング、撮影、ショー現場態度含む)70%
プレゼンテーション20% 授業態度10%

【教科書・参考書】

国内外のコレクションショー鑑賞、写真集

【教材・教具】

筆記用具

科目名	スタイリング演習Ⅳ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 40 % 実習 60 %
時間数	120	作成者	板倉龍城
【科目の到達目標】 スタイリスト及びクリエイターとして、ファッションフォト(BOOK)を通してクライアントにプレゼン能力を養う			
【科目の概要】 テーマ・ラフプレゼン・スタイリングボディフィッティング・撮影・作品考察をする 近年のファッションヒストリーを体系立てて、学習する。トレンドリサーチ力のある学生を目指す			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1 2	スタイリスト概論 - 関西／東京／外国のスタイリストの違いについて +コレクション＝ファッションショーについて	31 32	models.comを使いこなす + 世界のスタイリストを知る+スタイリングチェック
3 4	100年間のファッションヒストリー + 2023AW コレクション考察	33 34	撮影
5 6	100年間のファッションヒストリー + 2023AW コレクション考察	35 36	撮影
7 8	100年間のファッションヒストリー + ラフプレゼンテーション	37 38	作品考察／ブックの見直し
9 10	100年間のモードフォトグラフィー ラフプレゼンテーション	39 40	モードブランドのワールドキャンペーン 発表
11 12	スタイリングチェック 撮影の内容を考える	41 42	テーマ
13 14	カメラマン打ち合わせ 撮影の内容を考える2	43 44	カルチャー概論 - 映画、音楽、アートの最新情報 ラフプレゼンテーション
15 16	撮影	45 46	ラフプレゼンテーション
17 18	撮影	47 48	スタイリングチェック
19 20	作品考察	49 50	スタイリングチェック
21 22	2024SS コレクション考察	51 52	カメラマン打ち合わせ 撮影の内容を考える
23 24	テーマ	53 54	撮影
25 26	ラフプレゼンテーション + グラフィックの人のポートフォリオを研究する	55 56	撮影
27 28	ラフプレゼンテーション + 作品に意味を付けるために文脈の作り方を知る	57 58	作品考察／ブックの見直し
29 30	スタイリングチェック	59 60	作品考察／ブックの見直し 就職概論+これからの生き方
【成績評価方法】 授業態度(挨拶・プレゼン・スタイリング・撮影現場・ショー運営を全部含む) 提出物評価50% プレゼンテーション20% 授業態度30%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			

科目名	スタイリングデザインⅢ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 40 % 実習 60 %
時間数	60	作成者	金児優
【科目の到達目標】 スタイリングコンテストやファッションショーにおいてのテーマ出し、スタイリング、ヘアメイク、モデル選定、音楽、演出など、ショー全体の企画提案能力、運営できる力を身に着ける。 クライアント、モデル、シーン等を考慮したスタイリング提案ができる。			
【科目の概要】 ファッションショーの企画提案やそのプロセスを実践的かつ主体的に学ぶ。 アパレルブランドやアパレル企業の特性を知り、クライアントやリースブランドの理解を深める。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1	プレタ展ディスカッション	17	上安祭 音楽/照明/演出
2	プレタ展 テーマ/インスピレーション	18	上安祭 進行表/練習
3	プレタ展 イメージ/デザイン画	19	ポスター写真選別
4	プレタ展 デザイン画プレゼンテーション	20	ルポルン写真展示レイアウト
5	プレタ展 スタイリング考案	21	ルポルン写真展示印刷依頼
6	プレタ展 ショー構成・音楽	22	ルポルン写真展示
7	プレタ展 ロケ選定/ショー演出	23	ファッションコーディネート提案Ⅰ
8	プレタ展 ロケ選定/ショー演出	24	ファッションコーディネート提案Ⅱ
9	プレタ展 進行表/運営準備	25	ファッションコーディネート提案Ⅲ
10	プレタ展 フィードバック	26・27	上田学園コレクション 衣装合わせ
11	上安祭 企画概要/テーマ 上安祭 インスピレーションMAP	28	プレゼンテーション
12	上安祭 ディテールMAP	29	卒業ショー準備Ⅰ
13	上安祭 デザイン画/イメージ	30	卒業ショー準備Ⅱ
14	上安祭 スタイリング コレクションブランド研究Ⅱ		
15	上安祭 スタイリング コレクションブランド研究Ⅱ		
16	上安祭 ロケーション撮影指示書 コレクションブランド研究Ⅲ		
【成績評価方法】 課題点 60% テスト 30% 平常点(授業態度) 10% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 ・ファッション雑誌 ・デザイン用具 ・B4ケント紙 ・B4ファイル ・A4ケント紙 ・A4ファイル ・電卓			

教科名	スタイリング造形Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義20%実習30%
時間数	90	作成者	金児優

【授業の到達目標】

スタイリストに必要な縫製技術と知識を、実物作成を通して修得する。

【授業概要】

スタイリストに必要な縫製技術・補正技術の基本を学ぶ。
また、イメージに合うスタイリングを作る為のリメイク・小物作りをファッションショーや撮影準備を通し修得。
様々なオファーに対応できるスタイリング製作能力を修得。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	導入/採寸	21・22 上安祭衣装製作
3・4	ワンピース製作/裁断	23・24 上安祭衣装製作
5・6	ワンピース製作/芯貼り・切り膳	25・26 上安祭衣装製作
7・8	フォトシューティング用衣装製作	27 上安祭衣装製作/仕上げ
9・10	フォトシューティング用衣装製作	28・29 ワンピース製作/縫製
11・12	ワンピース製作/縫製	30・31 ワンピース製作/縫製
13・14	プレタ展用衣装製作	32・33 ワンピース製作/縫製
15・16	プレタ展用衣装製作	34・35 ワンピース製作/縫製
17・18	プレタ展実物審査	36・37 ワンピース製作/縫製
19・20	プレタ展用衣装製作	38・39 ワンピース製作/卒業ショー衣装製作
		40・41 ワンピース製作/卒業ショー衣装製作
		42・43 ワンピース製作/プレゼンテーション
		44・45 終業テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版
『ワンピース』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式、ショー衣装、生地(指定)、裏地、ミシン糸、手縫い糸
スプリングホック、ファスナー、ストレートテープ、接着芯

科目名	メイクアップ&ヘアスタイリングⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	西保幸子
【科目の到達目標】 ショーや撮影映えするヘアメイクテクニックを中心にクリエイティブなヘアメイクテクニックの技術習得。			
【科目の概要】 毎シーズン移り変わるトレンドを意識し、ファッションとヘアメイクの関連性を意識し、どんなファッションにも合わせたヘアメイクが施せる技術と完成を身につける。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	自己紹介&技術チェック	29・30	上安祭ヘアメイクレッスン
3・4	グラデーションメイク&アイブロー	31・32	上安祭ヘアメイクレッスン
5・6	針金を使ったクリエイティブヘア	33・34・35	上安祭本番
7・8	ペイントメイク	36・37	骨格診断
9・10	ネジピンで作るクリエイティブヘア	38・39	クリエイティブヘア(モードヘア)
11・12	ウェットフィンガーウェーブ	40・41	クリエイティブヘア(モードヘア)
13・14	ステンシル作成&タトゥー練習	41・42	クリエイティブヘア(ウィッグ)
15・16	プレタ展レッスン	43・44	クリエイティブヘア(ヘアゴム)
17・18	プレタ展レッスン	45・46	クリエイティブヘア(ウィッグアレンジ)
19・20・21	プレタ展リハーサル	47・48	スタイリングショーヘアメイク提案
22・23・24	プレタ展本番&撮影	49・50	スタイリングショー練習
25・26	コーンロー作り方	50・51	スタイリングショー練習
27・28	期末テスト	52・53	スタイリングショー練習
		54・55・56	スタイリングショーリハーサル
		57・58・59・60	スタイリングショー本番 / テスト
【成績評価方法】 提出物評価10% テスト50% 実習20% 授業態度20% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】 プリント配布			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	スタイリングフォト	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義20 % 実習80 %
時間数	30	作成者	近藤織弓

【科目の到達目標】

「肯定、信頼、問い」をコンセプトとし、スタイリングを通して自己に向き合いながら
今後の表現方法を追求する。

【科目の概要】

基本的な写真の知識を得て、表現方法をチームで作成する。

課題に合わせたスタイリングをする。

スタイリング作品を写真や動画を使ってプレゼンし、今後の課題、表現方法を追及する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 講師の自己紹介、写真にふれる
- 2 好きな写真表現の発表
- 3 課題に合わせたスタイリングを考案し、撮影する。(課題は記憶色、撮影しにくい素材を使用)
- 4 撮影小道具の名称など現場での用語、対応 +3のつづき
- 5 構図、ライティング(写真撮影の基礎) +3のつづき
- 6 adobe expressの使い方 +3のつづき
- 7 2より、課題制作のチーム決定。制作課題の決定。
- 8 自身のテーマに沿ってスタイリングし、撮影
- 9 自身のテーマに沿ってスタイリングし、撮影
- 10 自身のテーマに沿ってスタイリングし、撮影
- 11 自身のテーマに沿ってスタイリングし、撮影(担当をチェンジ)
- 12 自身のテーマに沿ってスタイリングし、撮影(担当をチェンジ)
- 13 自身のテーマに沿ってスタイリングし、撮影(担当をチェンジ)
- 14 発表(プレゼン)
- 15 振り返り(今後の課題、改善点、気付き)

【成績評価方法】

提出課題の評価 40%、 期末試験 30% 授業態度 30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

スマホ／自作座標

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	古濱伴子

【科目の到達目標】

素材の特性、機能性を理解し、商品に適した取り扱いが出来るようになることを目標とする。

【科目の概要】

機能性商品など市場には様々な特徴のある商品が並んでいる。繊維ごとの特性、機能性を、実験や演習を交えながら解説し、そのメンテナンスに至るまで修得する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 家庭用品品質表示法 洗濯表示
- 3 アパレル商品の取り扱いについて
- 4 天然繊維・植物繊維（綿・麻）
- 5 天然繊維・動物繊維（毛・絹）
- 6 化学繊維（1）再生繊維
- 7 化学繊維（2）半合成繊維
- 8 化学繊維（3）合成繊維ナイロン・アクリル
- 9 化学繊維（4）合成繊維ポリエステル・ポリウレタン
- 10 合成皮革・人工皮革
- 11 糸の種類と太さ
- 12 織物の組織とその特徴
- 13 編物の組織とその特徴
- 14 繊維に求められる機能と着心地
総復習（テスト傾向と対策）
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』、ファッション教育社、2012年
- ・田中道一『生地の事典』株式会社みずしま加工

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッション史Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	樂愛美

【科目の到達目標】

身体を守る機能としての服から、現在のトレンド、流行としての服までを大きく捉え、国の文化の違い、美術、建築、音楽など文化的関連性を学び、デザイン、企画、服作りの基礎を修得する。

【科目の概要】

I では日本の幕末期西洋服導入期から始まり、原始、古代、中世、近世、近代のファッションと文化を考察する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 日本西洋服の導入期幕末から、日本文化の特徴、男子詰襟服、ハイカラ、セーラー服、モボモガ
- 2 1945年終戦からアメリカ文化の流入、1964年東京オリンピックとメンズ服、1970年大阪万博とレディース服
- 3 アワーグラス、クリノリン、バスル、レディースパンツ、ミニスカート
- 4 原始から古代、毛皮、ドレーパリー、ポンチョ、チュニック、カフタン、ズボンとフォークロア
- 5 古代ギリシャ&ローマ、宗教の誕生とバチカン市国、ベルニーニ、ミケランジェロ
- 6 中世ヴィザンティン、ロマネスク、ゴシックからゴス、ゴシック建築、ジャンヌダルク
- 7 近世ルネサンスのイタリア黄金時代、ルーブル、オルセー、ポンピドー、大航海時代と日本南蛮文化
- 8 裏ルネサンスのヘンリー8世とエリザベス1世、レディース貴族ファッションの確立
- 9 裏ルネサンスのアメリカ大陸到達と、独立、ゴールドラッシュ、南北戦争
- 10 バロックとスペイン、オランダの黄金時代とイタリアの終焉
- 11 フランスロココの黄金時代、ルイ14世とベルサイユ、マリーアントワネットと16世
- 12 ディズニープリンセス系、ロリータファッションと原宿の歴史
- 13 裏ロココのイギリス産業革命、ブリティッシュトラッドと階級制度の確立、サヴィルロウとビスポーク
- 14 軍服の影響、ヴィクトリア女王とゴシックリバイバル、ダークファンタジーとGOTH
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価 60%、 期末試験 30%、 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義20 % 実習80 %
時間数	60	作成者	小川彩美

【科目の到達目標】

ビジネスに求められる英語でのコミュニケーション能力を養い、幅広い対応力と実践力を身につける。
様々な状況において英語を使うことを恐れない自信をつける。

【科目の概要】

前期は「使えるフレーズ」を習得し、自信を持ってコミュニケーションができるよう実習及び研修に備える。
後期は「読む・聞く・話す・書く」全般を学ぶことでプレゼンテーションやビジネスシーンで使う実践的な対応能力を養う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	Describing Fashion 1 : Vocabulrly_Body Parts	16	Group Presentaion 1/ Preparation
2	Describing Fashion 2 : Vocabulrly_Color/ Pattern	17	Group Presentaion
3	Describing Fashion 3 : Vocabulrly_Outfit	18	Business English 1 – Business Writing
4	Describing Fashion 4 : Phrases_How to Wear The Clothes	19	Business English 2 – Email
5	Describing Fashion 5 : Phrases_Caring for the Moels	20	Business English 3 – Taking telephone message
6	Understanding a movie	21	Business English 4 – Offering to help & appologizing
7	Watching a movie	22	Review / Test
8	English Composition	23	Group Presentation 2 / Reserch
9	Traveling English 1–Airport & Airplane	24	Group Presentation / Preparesaion
10	Traveling English 2–Shopping	25	Group Presentation
11	Traveling English 3–Restaurant	26	Understanding a Movie
12	Traveling English 4–Guidance	27	Watching a Movie
13	Traveling English 5 –Getting Help for medical problem	28	Presentation / Reserch
14	Traveling English 6 –Reporting lost property	29	Presentation / Preparesaion
15	Review / Test	30	Presentation

【成績評価方法】

提出物40%、小テスト 20%、期末テスト 30%(筆記及びプレゼン)、授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

DVDs and player, PC and Projector, CD player, Dictionary(Smartphone Application), Magazines

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	92	作成者	ホウーシャ瑠伊/島津和音
【科目の到達目標】 海外研修に向けての事前研究や国内での外部見学等を通して知見を広げ、自身の作品クオリティを向上させることを狙いとする。			
【科目の概要】 自身の知識向上、スキルアップのための研究を行う。海外研修の事前学習として、作品プレゼンテーションの準備やオーストラリアの事前リサーチを行い、マーケットや文化、ファッション特性を知る。 また、就職活動に使用するため、在学期間に撮影した作品をまとめたポートフォリオを製作する。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1 2	PSCコラボ撮影/打ち合わせ	31	海外研修/資料作成
3 4	PSCコラボ撮影/打ち合わせ	32	海外研修/資料作成
5 6	PSCコラボ撮影/スタイリングチェック	33	海外研修/資料作成
7 8	PSCコラボ撮影/ロケーション撮影	34	海外研修/事前プレゼンテーション
9 10	PSCコラボ撮影/プレゼンテーション	35	海外研修/最終チェック
11	キャリアプラン I	36	海外研修/研修発表
12	名刺作成	37	ポートフォリオ/中間チェック
13	名刺作成	38	ショー運営について
14 15	ポートフォリオ制作手順	39	外部取り組み/セミナー
16	海外研修/企画・進行計画	40	外部取り組み/準備
17 18	外部取り組みセミナー	41	外部取り組み/準備
19	海外研修/リサーチ	42 43	外部取り組み/本番
20	海外研修/PSC顔合わせ準備	44	キャリアプラン II /プレゼンテーション
22	海外研修/PSC顔合わせ準備	45	ポートフォリオ/仕上げ
22 23	海外研修/PSC顔合わせ	46	ポートフォリオ/考察
24 25	海外研修/資料作成		
26	海外研修/資料作成		
27 28	海外研修/資料作成		
29 30	海外研修/資料作成		
【成績評価方法】 課題評価60%、プレゼンテーション30%、授業態度10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 パソコン			

科目名	きものコーディネーション	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	樂愛美

【科目の到達目標】

スタイリストとして、着物の名前、種類と季節、TPOに応じたルールを学び、帯と着物の格を合わせる知識を知る。基本的な着物の着付けと帯結び、畳み方を修得し、オケージョンに合ったコーディネート提案できる基礎知識を身につける。

【科目の概要】

講義と実技により、着物の着付けと帯結びを修得し、スタイリングやコーディネートを実践する

【授業計画】

90分/コマ

- 1 講義 着物のTPO 着物と帯の格合わせ 着付けの小物について 浴衣の歴史
- 2 浴衣の着付けと着物の着付けに必要な小物、長襦袢の半襟の説明 畳み方
- 3 講義 季節の着物 各部位の名称をおぼえる身体の補正と浴衣下着の付け方
実技 浴衣の着付け(自装)・帯の結び方
- 4 実技 浴衣の着付け(他装)・帯の結び方
- 5 着物の着付けの為の身体の補正を調節する 肌襦袢、裾除け、長襦袢の着せ方、畳み方
- 6 ※実技試験 浴衣(自装・他装)
- 7 着物の着付けと畳み方
- 8 着物の着付けと畳み方 ※授業の進捗状況でペーパーテストをこのあたりで実施する場合がある
- 9 帯締め、帯揚げの結び方 名古屋(お太鼓結び)の結び方
- 10 帯締め、帯揚げの結び方 名古屋帯の結び方、名古屋帯の畳み方
- 11 着物の部位の名称と着付け小物の名称 ※筆記試験
着物の着付けと帯結び
- 12 着物の着付けと帯結び
- 13 ※実技試験(ペーパーテスト)
- 14 実技試験 着物(自装・他装)

【成績評価方法】

課題、実践評価 60%、 テスト 30%、 授業態度 10%

【教科書・参考書】

必要に応じてプリント配布

【教材・教具】

筆記用具、浴衣、浴衣帯(半幅帯)、着物、名古屋帯、肌襦袢、裾除け、長襦袢、着付け小物一式、補正用タオル

科目名	海外研修	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義10 % 実習90 %
時間数	60	作成者	ホウーシャ瑠伊/島津和音

【科目の到達目標】

オーストラリア・メルボルンにて国際的なフォトグラファー教育を行うPhotography Studies College(PSC)で研修を行い、海外作品の表現方法やグローバルな感性の修得を目指す。

【科目の概要】

オーストラリア・メルボルンにて国際的なフォトグラファー教育を行うPhotography Studies College(PSC)で研修を行う。作品のプレゼンテーションや撮影でのコミュニケーションを英語で行うことで語学力の向上を図るとともに、現地視察や海外での撮影に必要な技術や表現方法を学ぶことで、文化的価値観や国際感覚を養う。また、メルボルンファッションウィークに参加し、国際的なファッション感覚を養う。

【授業計画】

90分/コマ

●メルボルンについての事前リサーチ

●6泊8日の研修参加

- ・PSCにて授業受講(撮影での表現方法、ロケーションやポージングの選定方法など)
- ・PSC教員/学生へ、日本で制作した作品についてのプレゼンテーション
- ・PSC教員からアドバイス、PSC学生からロケーションやポージングの提案
- ・モデルフィッティング、ヘアメイクテスト
- ・ロケーション視察、選定
- ・3人1組となり、市内でロケーション撮影(本校学生:スタイリスト、PSC学生:カメラマン、モデル)
- ・PSC学生(カメラマン)と資料を作成し、作品プレゼンテーション

●メルボルンファッションウィーク参加

●ストリートリサーチ

●研修参加後のレポート、考察

【成績評価方法】

- ・授業態度10%
- ・課題作品の仕上がり評価(レポートを100点満点で採点し平均点で評価)60%
- ・理解力(修業テストプレゼン)30% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】